

恩師、安積75期生、同窓生へ 発行部数 三百十部、老後の生き方を真剣に問い掛ける豆新聞 住所変更をう連絡。

七五期

葉書きの同級会

▼名木昭66期夫人に駅前であつた。『葉書楽しみにしてゐるわ』こんな事言われると豆新聞すぐ、仕上げる。

▼佐藤裕夫①7月16日付けの手紙から▼小生、昭和41年に山形県、福島県の大卒警察官に合格したが、山形県警に就職した。同県警から警察庁に出向し外務省に派遣となり在スウェーデン日本国大使館二等書記官として3年半勤務した後帰国し、警察庁警察官に身分を

替え、警察庁、栃木県警、

東北管区警察局、愛知県警などに勤務しあの阪神淡路大震災の時には近畿管区警察局の警備課長として大阪に赴任中で、大震災警備の指揮官の一人として発生直後の応急初動措置を講じた後、約1月兵庫県警察災害警備本部で災害警備を担当しました。▼平成8年に内閣の危機管理機能強化のために新設された内閣情報調査室勤務となり現在まで1年4月を日本の無事を祈つて、総理官邸別館3F内閣情報集約センターで5日に一回の日勤と徹夜の当番勤

務に従事しています。▼山

形で結婚した家内との間に息子がいます。帰国子女にもかかわらず、栃木県勤務になる時、宇都宮高校に合格しました。宇都宮高校は安積と同じ県下一の歴史を持ち、校風も質実剛健、校舎のたたずまいも母校を思わせるものがあり、一安心したものでした。いまからも、これからも何処へいつても、安積で学んだ事は終生忘れ得ない思い出として大事にしていきたいと考えています。▼その後8月に入り再び手紙が届いた。この度静岡県警察本部警備部

長を命ぜられ着任した。

新任務は誠に身に余る重責であります。霊峰富士を仰いで勤務出来る幸せをのみしめつつ決意を新たに県民の安全を祈って専心努力いたす所存であります。尚11回目の新住所は静岡市上足洗一・三・八。この様な人がいるから日本は安全に暮らせるのです。▼影山勝三⑥明治堂薬局私と同級生と知らずに、娘が友人と『きらくや』に行きお世話になりました。ご利用ありがとうございます。▼新しいタイプの旅館。時代の先取りは格好良いのだが悪戦苦闘中です。

無責任編集発行 郡山市熱海町熱海4の 村田英男 FAX0249-84-2131 求む、近況報告